

プログラム

総合司会 長瀬修（立命館大学生存学研究センター特別招聘研究教授）

第1日 9月22日（木：祝）

9：00 開会挨拶 立岩真也（立命館大学先端総合学術研究科教授、同生存学研究センターセンター長）

9：10 基調講演「障害者権利条約第12条（法的能力）実施の国際的課題」
池原毅和（弁護士、東京アドヴォカシー法律事務所所長）

9：40 第1セッション：韓国（座長：立岩真也）
「韓国の成年後見制度の問題点と改善策 - 事例を中心」
高官哲（順天郷大学大学院障害学講師、韓国地域社会独立生活研究所所長）

「障害者の法的能力保障」

徐仁煥（韓国障害者財団事務総長・韓国障害学フォーラム会長）* 李燦雨（韓国脊髄損傷者協会）が代理報告

11：30 ポスター発表

「障害者権利条約と台湾の教育政策」張恒豪（国立台北大学准教授）

「支援付き意思決定と尊厳—香港の知的障害者の旅、チョーズンパワーのストーリー」陳俊傑（チョーズンパワー：香港ピープルファースト理事）馮慧瑛（チョーズンパワー：香港ピープルファースト支援者）

「マイノリティ運動におけるマルクス主義とその限界——勤労思想と能力主義」
寺前晏治（立命館大学先端総合学術研究科院生）

「他の者との平等の観点から支援された意思決定を考える」長谷川唯（京都府立大学／日本学術振興会 PD）、岡部宏生（日本 ALS 協会会長）、西田美紀（立命館大学先端総合学術研究科院生）、桐原尚之（立命館大学先端総合学術研究科院生、日本学術振興会特別研究員（DC1）、全国「精神病」者集団）

「自己決定と法的能力」長谷川唯

「世界の精神障害者のおかれている状況——法的能力に注目して」伊東香純（立命館大学先端総合学術研究科院生）

「日本の DV 被害女性向け公的支援における『要保護女子』像と DV 被害者自身による脱却」三輪佳子（立命館大学先端総合学術研究科院生）、徳丸ゆき子（NPO 法人大阪子どもの貧困アクショングループ）

「わが国のいわゆる『自閉症施設』はなぜ必要とされてきているのか：これまで、いま、そしてこれから」植木是（立命館大学先端総合学術研究科院生）

12：20 昼食休憩

13：10 第2セッション：中国（座長：邱大昕／高雄医学大学教授）

「中国大陸における成年後見制度の概要」陳博（国立アイルランド大学ゴールウェー校博士課程院生）、高薇（武漢大学公益発展法律研究センター主任研究員）

「中国における障害者権利条約第 12 条完全実施の課題——中国での実証研究に基づいて」黄裔（リーズ大学博士課程院生）

「障害者権利条約に基づく変革を阻害するものと戦術的分析」黄雪涛（平等正義イニシャティブ：EJI 会長）

15：00 休憩

15：10 第3セッション：台湾（座長：宋頌／中国知的発達障害者ネットワーク事務総長）

「台湾民法の成年後見新制度——実務運営についての研究」陳誠亮（台湾知的障害者親の会理事）

「法的能力と投票参加——台湾の事例」林聰吉（淡江大学教授）

「精神障害の法的能力の衝撃と反響——台湾からの報告」陳文珊（博士、玉山神学院助教）

「第12条実施への挑戦——障壁ある法は決して法にあらず」滕西華（中華民国障害者連盟事務総長）

17:00 第1日目終了の挨拶：吉田美喜夫（立命館総長・立命館大学長）

第2日9月23日（金）

9:00 第4セッション：日本（座長：季錫九／障害者権利条約実施連帯政策委員会委員長）

「成年後見に代わるもの」立岩真也

「日本の成年後見制度・意思決定支援とグッドプラクティス」桐原尚之（立命館大学先端総合学術研究科院生、日本学術振興会特別研究員（DC1）、全国「精神病」者集団運営委員）

10:50 休憩

11:00 パネルディスカッション：東アジアにおける法的能力と成年後見制度の展望

池原毅和（座長）、陳俊傑、玄根植（韓国障害者人権フォーラム政策課長）、黄裔、孫迺翊（国立政治大学教授）、桐原尚之

12:00 開会挨拶 立岩真也